

## 韓国

### マクロ経済動向と展望

韓国銀行（中央銀行）が12月6日に公表した、2012年第3四半期の実質GDPの成長率（改定値）は、季節調整値で前期比0.1%（年率換算0.4%）で速報値の同0.2%から下方修正され、景気低迷の実勢を示した。需要項目別に見ると内需では最終消費支出は同0.7%で速報値と変わらず。固定資本形成は同▲1.7%で速報値の▲1.5%から下方修正となった。その内訳では、設備投資が同▲4.8%で速報値の▲4.3%から0.5ポイント下がっている。

鉱工業生産指数（改定値）の第3四半期の伸び率は、季節調整値で前期比▲2.3%で、速報値の同▲2.0%から下方修正された。月次では、9月は前期比0.9%で、10月は同0.7%、11月は同2.8%となっている。

失業率（季節調整値）は、9月は2.9%、10月は3.0%、11月は3.0%と推移している。

貿易収支（IMF方式）は、9月は54.8億ドル、10月は51.7億ドル、11月は68.5億ドルのそれぞれ黒字となった。

対ドル為替レートは、9月は1ドル=1,124ウォンで、10月は同1,105ウォン、11月は同1,087ウォンと、前半と比してややウォン高で推移している。

消費者物価上昇率は9月の前年同月比2.0%から、10月は同2.1%、11月は同1.6%と低めに推移してきている。生産者物価上昇率は9月の前年同月比1.0%、10月は同0.2%と低下し、11月は▲0.2%とマイナスを記録した。

政府系シンクタンク、韓国開発研究院（KDI）が11月25日に発表した経済見通しによると、2012年の実質成長率は2.2%、2013年は3.0%となっている。これは中央銀行である韓国銀行が10月に発表した予測値、2012年2.4%、2013年3.2%をそれぞれ下回っている。

2012年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が1.7%、設備投資が0.0%、建設投資は▲0.6%となっている。

外需である輸出は3.4%としている。また、消費者物価上昇率は2.2%、失業率は3.3%と予測している。

一方、2013年の成長率については、内需は民間消費が2.7%、設備投資が5.3%、建設投資が2.3%とそれぞれ前年よりは復調し、輸出も6.9%と伸びるとしている。ただし全体の成長率3.0%は、4%程度と見られる韓国の潜在成長率を下回っており、ユーロ危機後の世界経済の低迷が、韓国経済の回復に重石となっている。

### 大統領選挙の動向

12月19日に投票が行われた大統領選は保守派の与党セヌリ党の朴槿恵候補が、無所属の安哲秀候補の立候補辞退により、革新系統候補となった民主統合党の文在寅候補に勝利した。

この結果2月に発足する新政権は、現在の李明博政権と同じ保守派政権と決まったが、大統領選を通じて論点となった、経済格差の問題などについては、ある程度の政策の変更が予想される。

まず経済力の集中が批判される財閥に対する政策については、野党候補が主張した、グループ企業間の相互株式所有による「循環出資」の禁止は、見送られる見通しとなっている。しかし、グループ内の金融企業と非金融企業の間の出資に対する規制、オーナー一族が代表者を務める非上場系列企業に対するグループ企業の支援の規制などの措置が検討されている。

個人間の所得再配分をはかる政策としては、住宅ローンの返済が困難になっている債務者に対する支援など、個人債務の増大に対する対策も検討されている。また、高額所得者に対する非課税、減免措置の撤廃など、実質的な増税も検討されている。

経済政策の円滑な推進のため、李明博政権で廃止された経済政策担当の副首相ポストの再設置が検討されている。

（ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義）

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	11年10-12月	12年1-3月	4-6月	7-9月	12年9月	10月	11月
実質国内総生産 (%)	5.1	2.3	0.3	6.3	3.6	0.3	0.9	0.3	0.1	-	-	-
最終消費支出 (%)	5.1	2.0	1.2	4.1	2.2	▲0.5	1.5	0.2	0.7	-	-	-
固定資本形成 (%)	4.2	▲1.9	▲1.0	5.8	▲1.1	▲1.5	3.2	▲2.9	▲1.7	-	-	-
鉱工業生産指数 (%)	6.9	3.4	▲0.1	19.5	9.5	▲0.1	2.2	▲0.1	▲2.3	0.9	0.7	2.8
失業率 (%)	3.2	3.2	3.6	3.7	3.4	3.1	3.4	3.3	3.0	2.9	3.0	3.0
貿易収支 (百万USドル)	37,129	5,170	37,866	40,083	30,950	10,249	2,612	8,521	13,341	5,487	5,169	6,753
輸出 (百万USドル)	371,489	422,007	363,534	466,384	555,214	140,370	134,873	140,193	133,143	45,423	47,080	47,779
輸入 (百万USドル)	356,846	435,275	323,085	425,212	524,413	131,209	133,609	130,474	125,594	42,538	43,390	43,398
為替レート (ウォン/USドル)	929	1,103	1,276	1,156	1,108	1,144	1,131	1,152	1,133	1,124	1,105	1,087
生産者物価 (%)	1.4	8.6	▲0.2	3.8	6.1	5.0	3.2	1.7	0.4	1.0	0.2	▲0.2
消費者物価 (%)	2.2	4.2	2.6	2.9	4.0	4.0	3.0	2.4	1.6	2.0	2.1	1.6
株価指数 (1980.1.4 : 100)	1,897	1,124	1,683	2,051	1,826	1,826	2,014	1,854	1,996	1,996	1,912	1,933

（注）国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2005年基準、消費者物価は2010年基準

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

（出所）韓国銀行、統計庁他